

福岡県八女市：“市民が主役”で挑戦する地域循環共生圏づくり ～環境先進都市 八女へ～



事業計画の特徴

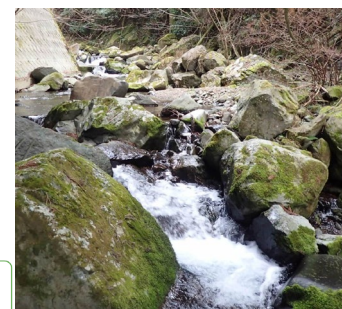
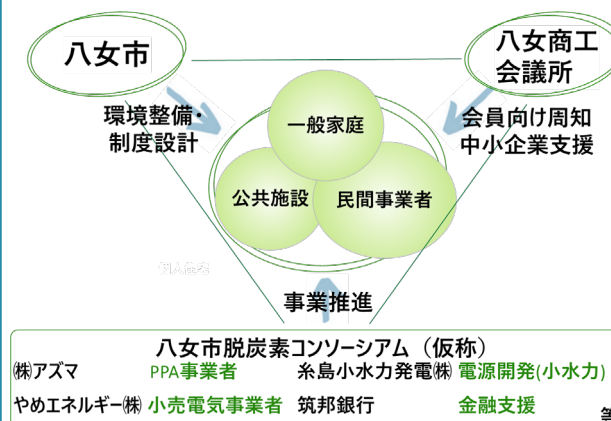
- ・商工会議所と連携し、会員向けに屋根形状や電力使用による最適な再エネ導入量調査や事業性評価等の個別診断を実施し、中小企業における設備導入につなげる。また地元金融機関等で構成予定の「八女市脱炭素コンソーシアム(仮称)」が関わることで、さらに実効性を高めていく。
- ・本事業で導入する太陽光発電設備で生じた余剰電力を地域エネルギー会社（やめエネルギー㈱）を通じて、民間事業者や公共施設向けに供給することで、再エネの地産地消を進める。
- ・導入ノウハウを持つ糸島小水力発電㈱と連携し、市内河川を活用した小水力発電設備（195kW）を導入することで、全公共施設において消費する電力の約15%をまかなう。
- ・個人向け太陽光発電設備の導入について、市費による上乗せ協調補助を実施。 ※2030年度までに公共・公用施設の電力消費に伴うCO2排出を実質ゼロとする。

事業計画の概要（民間）		再エネ：3,000kW
取組（個人）	規模	
太陽光発電設備の導入（PPA等）	・400件 ・2,000kW	
取組（事業者）	規模	
太陽光発電設備の導入（PPA等）	・20件 ・1,000kW	
EVの導入	・15台	
充放電設備の導入	・10件	
事業計画の概要（公共）		再エネ：2,995kW
取組	規模	
庁舎等への太陽光発電設備の導入	・16件 ・800kW	
市有地への太陽光発電設備の導入	・1件 ・2,000kW	
小水力発電設備の導入	・1件 ・195kW	

事業計画の効果・費用

再エネ導入	CO2削減	事業費	交付金額	計画期間
5,995kW	48,778 t-CO2	19.4億円	7.3億円	令和7年度 ～ 令和12年度

取組のイメージ



小水力発電(取水設備)計画地